

コメント

1. インフルエンザ

定点当り24.9人とほぼ横ばいとなっており多い状態が続いています。安芸区59.0人、南区32.8人、佐伯区31.0人、東区30.0人と警報開始レベル(定点当り30人)以上となっておりその他の区でも注意報レベル(定点当り10人)を超えています。

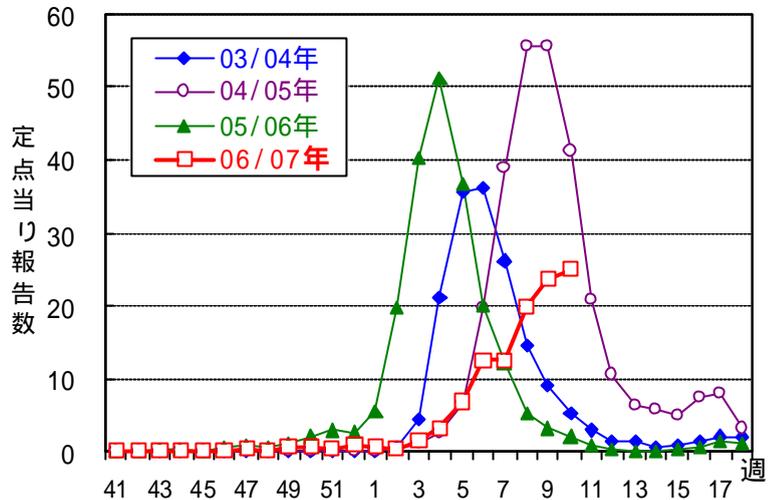
2. 感染性胃腸炎

定点当り9.46人とほぼ横ばいとなっています。安芸区17.5人、佐伯区15.0人、東区12.7人、西区10.7人となっています。

3. 咽頭結膜熱

定点当り0.67人報告されており例年同時期と比べて多い状態が続いています。

インフルエンザ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	921	24.89	13.33	→	麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	16	0.67	0.12		流行性耳下腺炎	8	0.33	1.38	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	1.17	1.45	↘	RSウイルス感染症	6	0.25	0.03	
感染性胃腸炎	227	9.46	14.05	→	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	31	1.29	2.21	↘	流行性角結膜炎	4	0.50	0.88	
手足口病	1	0.04	0.10		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	10	0.42	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
突発性発疹	13	0.54	0.68		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.26	
百日咳	1	0.04	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.07						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	後天性免疫不全症候群	2	3	男性(30歳代)・無症候、男性(50歳代)・無症候

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	全国	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
			第6週	461	17	64	287	48	5	12	14	-	-	2	-	1	6	-	3	-	-	3	-
第7週	465	11	46	219	40	2	4	14	-	-	1	-	3	11	-	1	-	-	3	-	-	-	-
第8週	737	9	29	173	25	2	5	13	-	-	3	-	1	12	-	3	-	-	4	-	-	-	-
第9週	869	17	46	236	44	-	7	17	-	-	4	-	4	5	-	1	-	-	8	-	-	-	-
第10週	921	16	28	227	31	1	10	13	1	-	1	-	4	6	1	4	-	-	2	-	-	-	-
第6週	12.46	0.71	2.67	11.96	2.00	0.21	0.50	0.58	-	-	0.08	-	0.04	0.25	-	0.38	-	-	0.43	-	-	-	-
第7週	12.57	0.46	1.92	9.13	1.67	0.08	0.17	0.58	-	-	0.04	-	0.13	0.46	-	0.13	-	-	0.43	-	-	-	-
第8週	19.92	0.38	1.21	7.21	1.04	0.08	0.21	0.54	-	-	0.13	-	0.04	0.50	-	0.38	-	-	0.57	-	-	-	-
第9週	23.49	0.71	1.92	9.83	1.83	-	0.29	0.71	-	-	0.17	-	0.17	0.21	-	0.13	-	-	1.14	-	-	-	-
第10週	24.89	0.67	1.17	9.46	1.29	0.04	0.42	0.54	0.04	-	0.04	-	0.33	0.25	0.13	0.50	-	-	0.29	-	-	-	-
第8週	18.36	0.33	2.46	6.72	2.37	0.37	0.57	0.60	0.01	-	0.04	0.01	0.67	-	0.02	0.65	0.01	0.02	0.44	0.01	-	-	-
第9週	23.37	0.32	2.51	7.03	2.32	0.31	0.66	0.58	0.01	-	0.04	-	0.57	-	0.03	0.63	0.01	0.02	0.52	0.01	-	-	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

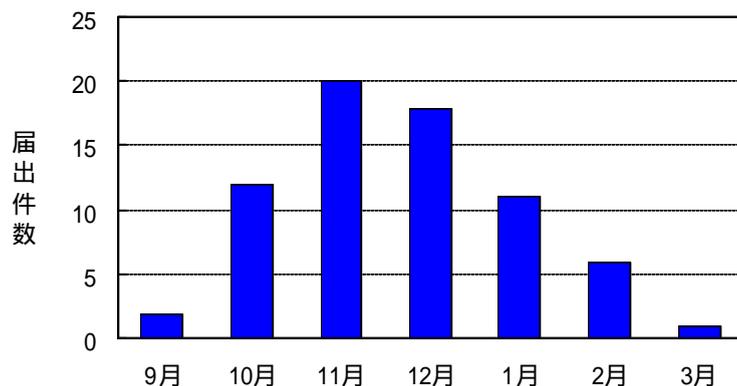
診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	不明	女	2007/03/06	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	男	2007/03/07	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	女	2007/03/07	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	不明	2007/03/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	男	2007/03/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	女	2007/03/09	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
メタニューモウイルス感染症疑い	0	女	2007/02/01	鼻汁(拭い液)	RS ウイルス

インフルエンザウイルス検出速報

3月判明分 (検体採取日 2007年2月28日 ~ 3月9日)

	散発 (病原体定点より搬入)				集団かぜ				合計			
	Aソ連	A香港	B	散発計	Aソ連	A香港	B	集団計	Aソ連	A香港	B	合計
3月判明分	0	10	4	14	0	0	0	0	0	10	4	14
今シーズン計	1	21	19	41	0	0	5	5	1	21	24	46

【参考】広島市における感染性胃腸炎集団発生の月別届出件数の推移 (2006年3月9日現在)



月別発生件数は、昨年の11月をピークに減少傾向ですが、依然として少数ながら発生しています。

集団発生のほとんどはノロウイルスが原因です。ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも感染しますので、学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第10週 (3月5日 ~ 3月11日)